

1. 傘シェアリングサービス アイカサについて

アイカサは、好きな時に借りられて、どこでも返すことができる、傘のシェアリングサービスです。アイカサを展開している株式会社Nature Innovation Group 古堅様より、サービスをご紹介頂きました。

サービス概要	実績 (2020.1現在)	ミナミエリアで導入した場合
<ul style="list-style-type: none"> ● レンタルスポット(傘立て)で傘のQRコードを読み込むことで傘の利用が可能。返却はどここのレンタルスポットでも可。 ● 料金(税込)は、1日¥70、月上限¥420 ● 傘のデザインは、コラボデザインが可能 	<ul style="list-style-type: none"> ● シェアリング傘本数：約10,000本 ● 傘設置施設数：約850箇所 ● 登録ユーザー数：約73,000人 ● 関西では、京都市・神戸市・奈良市の各鉄道会社が2020年から導入予定 	<ul style="list-style-type: none"> ● 雨天時の街の回遊性が向上する ● 傘広告(コラボデザイン傘)ができる ● 街中のビニール傘のポイ捨て減少、海洋プラスチックなどの環境問題・社会問題に貢献。SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」に則り、循環型社会に貢献。

- 会員からの意見
- ◎ インバウンドの方も簡単に利用できる仕組みになっているか。
→ インバウンド対応が可能なアプリを開発したので、関西での設置から対応になる。(アイカサ 古堅様)
 - ◎ アイカサ設置者にはどのようなメリットがあるか。
→ 利益の提供はしていないが、設置者には、SDGsの目標「つくる責任つかう責任」に則り、傘のシェアリングエコノミーを通じて循環型社会への貢献などができ、メディアから注目を得られるメリットがある。(アイカサ 古堅様)

2. 道路空間再編について

(1) 荷さばきワーキング — 御堂筋の停車・荷さばきルールに関する意見交換会 —

1/31、沿道のテナントや荷さばき事業者など、実際に側道を使って荷さばきをしている関係者26名との意見交換会が実施されました。参加者からは、夜間や工事中の荷捌きに関する質問や意見等が出されました。

(2) 大阪メトロへの要望 — 御堂筋上の地下鉄出入口の再整備について —

2/15、御堂筋上の地下鉄出入口の再整備(※)について、沿道協議会及び当会の連名で大阪メトロに要望書を提出、意見交換を行いました。

※御堂筋上の地下鉄出入口の再整備…なんば駅11番出入口の撤去及び、なんば駅14番・25番出入口の移動・改良

3. ビッグデータ等を活用したミナミの回遊性向上

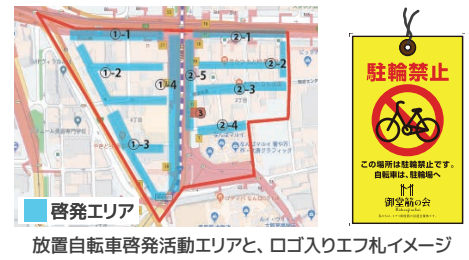
国や市からビッグデータを活用したまちづくりの方向性が出されている中で、当会でも、ミナミの回遊性を高め、滞在時間を延ばす上で、ビッグデータの活用を検討しています。

2/21、大阪市建設局等を交え、ミナミエリア回遊に向けた検討の勉強会を開催しました。勉強会では、回遊性にかかる問題認識を共有しながら、データ等を活用した回遊性の評価・分析や、回遊性構築のあり方、回遊性実現のための具体策等について議論を重ねていくことを予定しています。



4. 御堂筋イルミネーション連携事業

今年度の御堂筋イルミネーション連携事業について、収支結果等の最終報告を行いました。また、協賛金を活用して放置自転車啓発活動を追加実施することを提案し、追加の自転車啓発活動は、前回と同じエリアで実施し、エフ札は当会のロゴ入りのものを使用することに賛同を得ました。次年度の「大阪・光の饗宴」「御堂筋イルミネーション」に向けては、事業のグレードアップをめざします。



放置自転車啓発活動エリアと、ロゴ入りエフ札イメージ

- 次年度の「大阪・光の饗宴」「御堂筋イルミネーション」に向けて(案)
- ① 協賛・ジャック型のさらなる拡張
 - ② 沿道協賛メニュー拡大とイルミ充実の仕掛け
 - ③ 今回できなかった路上設置リトライ
 - ④ カウントダウンの本格実施
 - ⑤ 以上を実現するための規制緩和、警察との連携体制づくりなど
 - ⑤ グレードアップを実現する財源の確保

会員からの意見

◎ 広告代理店からは、「バナーは原価が表に出ているのでお客様に売りにくい」という声が出ていたが、製作の見直しや台風対策等をするなど、「商品」としての扱いを検討すれば、利益を生み、利益を地域へ還元できるのでは。工事の仮囲いについても、「広告による利益は地域へ還元する。地域活性のために広告を行う。」と徹底的に言い切ることで、風穴を開けることに繋がるのでは。(株式会社ケシオン 多田様)

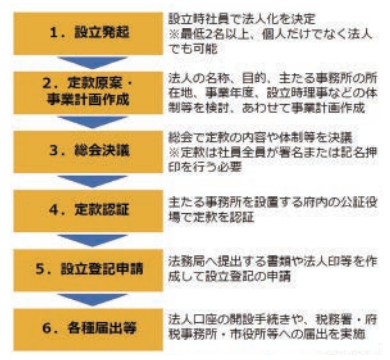
◎ 工事の仮囲いの件は、三津寺様の工事のタイミングを逃さずに実施すべき。

5. 組織検討について

これまで、当会は任意団体として活動してきましたが、対外的信頼力向上、事業遂行力・ガバナンスの強化、組織の自立をめざし、令和2年度での一般社団法人化を目標に検討を進めています。

一般社団法人には、普通型と非営利型がありますが、当会は、共益的活動を目的とする法人として、非営利型に該当すると考えています。

定例会では、一般社団法人の設立に要する費用、スケジュールなどを確認しました。



6. その他 報告事項

(1) 御堂筋協議会について

御堂筋のエリマネ団体や地元団体等で構成している御堂筋協議会は、2/3に正式に設立されました。御堂筋について協議・推進する組織として活動していきます。

(2) 大阪市・道路協力団体要綱パブコメ

大阪市では、御堂筋を車中心から人中心の道路へと空間再編を進めるとともに、公民連携による道路管理の一層の充実を図るため、「御堂筋における道路協力団体指定要綱(案)」にかかる意見公募を開始しました。

(3) 道路法改正案について

賑わいのある道路空間を構築するための道路の指定制度を国が創設します。歩道等の中に”歩行者の利便増進を図る空間”を定めることが可能になり、また、特例区域では、占用がより柔軟に認められます。御堂筋においても、この制度の利用の実現性について検討を進めます。

(4) 会のホームページについて

会のホームページが完成し、2/28に公開しました。
<https://minami-midosuji.net/>

定例会 参加者	【正会員】	高橋・福崎(株式会社スポーツツカハシ)、池田(有限会社泉屋)、富永(三信株式会社)、奥谷(株式会社三栄建設)、藤丸(光明興業株式会社)、山中(株式会社ベルコ)
	【賛助会員】	井原(株式会社アイ・プランニング)、辻(イチエイ商事株式会社)、島田・鈴木(東京建物不動産販売株式会社)、安田(東京建物株式会社)、武村(コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社)、橋川(CBRE株式会社)、多田(株式会社ケシオン)、合志(野村證券株式会社)
	【オブザーバー】	坂口(ホテルロイヤルクラシック大阪)、松本(認定NPO法人Homedoor)、脇田(ミナミまち育てネットワーク)、古堅(株式会社Nature Innovation Group)
	【事務局】	中塚・絹原・竹林(株式会社地域計画建築研究所(アルパック))

次回定例会のお知らせ **2020年3月30日(月) 16:00～** 難波御堂筋ビルディング 難波御堂筋ホール
(組織の検討・御堂筋イルミネーション・道路空間再編について協議予定)